

平成 28 年 4 月 26 日

中央労働災害防止協会
 教育推進部長 中屋敷勝也
 【照会先】
 総務部 上席専門役 間宮直樹
 (電話) 03-3452-6542 (FAX) 03-3452-9225
 E-mail koho@jisha.or.jp

熱中症予防対策シンポジウム

— 気象、労働衛生管理、行政の各分野から

東京 6/7 (火)、名古屋 6/9 (木)

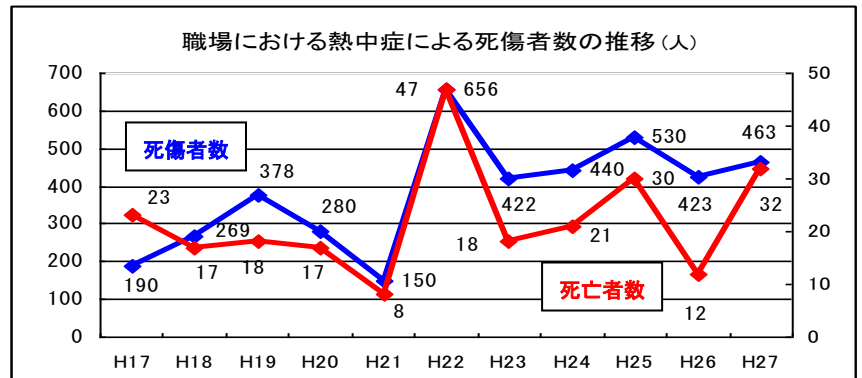
近年の職場における熱中症による死傷者数は、記録的な猛暑であった平成 22 年には建設業などで多発し、その後も毎年 400~500 人台と高止まりしている。

また、死亡者数についても毎年 20 人前後で推移し、平成 27 年（速報値）は過去 10 年間で 2 番目に多い年で 32 人となった。

(平成 27 年は速報値)

気象庁の暖候期予報（平成 28 年 2 月 24 日発表）によれば、本年の暖候期（6~8 月）の気温は平年並みか平年より高く、熱中症による労働災害の多発が懸念される。

本格的な暑さを迎える 7 月の「熱中症予防強化月間」に先立ち、全ての職場において積極的に熱中症予防対策に取り組むことが必要である。



今年のシンポジウムでは気象、産業保健・衛生管理、作業環境改善、労働衛生行政の各分野から熱中症の専門家をシンポジストとして迎え、熱中症予防推進のための議論が行われる他、企業の対策事例やスポーツ指導者の経験を踏まえた現場での熱中症リスクの低減対策の紹介など、職場の熱中症予防に役立つ内容となっている。

テキストには、主に製造業における暑熱環境の実態や対策調査の結果に基づく熱中症の基礎知識、暑熱作業に関するリスクアセスメントの考え方、事例等をまとめた『熱中症予防対策のためのリスクアセスメントマニュアル』（中災防編）を使用する。

また、併せて両会場では熱中症予防対策の各種用品展示も行う。

熱中症予防対策シンポジウム

東京会場 : 平成 28 年 6 月 7 日 (火) 9:30~17:05

サイエンスホール (東京都千代田区北の丸公園 2-1 科学技術館内)

名古屋会場 : 平成 28 年 6 月 9 日 (木) 9:30~17:05

デザインホール (愛知県名古屋市中区栄 3-18-1 デザインセンタービル 3 階)

【シンポジスト】

○ 気象の観点から

「今年の夏の気象と熱中症になりやすい気象条件」

村山 貢司 (気象予報士)

○ 産業医と衛生管理者の観点から

「熱中症発生のメカニズムからみた予防対策」

堀江 正知 (産業医科大学 産業保健管理学教室・教授)

○ 職場の作業環境改善の観点から

「屋外作業等における熱中症予防対策について」

川野 政彦 (株式会社 J P ハイテック 安全品質環境管理部長)

○ 職場における熱中症予防対策について

【東京会場】 厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課

【名古屋会場】 愛知労働局労働基準部健康課

【講演・スポーツ指導の立場から】

【東京会場】 佐古 賢一 (NBL 広島ドラゴンフライズ ヘッドコーチ、元バスケットボール男子日本代表)

【名古屋会場】 廣瀬 寛 (トヨタ自動車株式会社堤工場 工務部総括室 主査、元トヨタ自動車野球部監督)

【解説と事例紹介】

○ 『熱中症予防対策のためのリスクアセスメントマニュアル』

加部 勇 (古河電気工業株式会社 人事総務部衛生管理センター 総括産業医)

【Webで詳細を確認】

中災防 熱中症シンポジウム で **検索** 

JISHA 中災防

(注) 中災防は、昭和 39 年 (1964 年) に労働災害防止団体法に基づき設立された団体で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、企業の人材の育成、安全衛生の専門技術の提供および最新安全衛生情報の提供などの安全衛生に関する総合的な事業を行っています。

会 長：榊 原 定 征 (日本経済団体連合会 会長)

理事長：関 澤 秀 哲